



2024年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年10月25日

上場会社名 太洋テクノレックス株式会社
コード番号 6663 URL <https://www.taiyo-tx.com/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 細江 美則

問合せ先責任者 (役職名) 経営管理部長 (氏名) 園部 直孝

TEL 073-431-6311

配当支払開始予定日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2023年12月21日～2024年9月20日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	2,758	10.1	3		3		5	
2023年12月期第3四半期	2,504	4.2	138		113		134	

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 34百万円 (%) 2023年12月期第3四半期 109百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	0.97	
2023年12月期第3四半期	22.65	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	4,939	2,569	51.4
2023年12月期	4,577	2,539	54.8

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 2,536百万円 2023年12月期 2,508百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期		0.00		3.00	3.00
2024年12月期		0.00			
2024年12月期(予想)				3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2023年12月21日～2024年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,994	17.1	44		39		22		3.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年12月期3Q	5,992,400 株	2023年12月期	5,951,600 株
-------------	-------------	-----------	-------------

期末自己株式数

2024年12月期3Q	6,227 株	2023年12月期	6,227 株
-------------	---------	-----------	---------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年12月期3Q	5,970,446 株	2023年12月期3Q	5,945,374 株
-------------	-------------	-------------	-------------

添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8
(セグメント情報等の注記)	9

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済状況は、物価上昇の影響により実質賃金がマイナスに転じたことや日米金利差縮小による円高の進行により企業業績の先行きに懸念は残るものの、製造業を中心とした堅調な企業収益を背景に設備投資が拡大したこと等から、引き続き緩やかな回復基調で推移いたしました。

当社グループが属する電子基板業界は、スマートフォン等の民生品や度重なる認証不正問題の影響等による自動車の減産により車載向け高性能製品の需要が依然として低迷したことから、低調に推移いたしました。

このような経済環境の下、電子基板事業及び産機システム事業において販売は減少したものの、テストシステム事業及び鏡面研磨機事業において販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。

これらの結果、連結売上高は2,758百万円（前年同四半期比10.1%増）と、前年同四半期連結累計期間に比べ253百万円の増収となりました。

損益については、電子基板事業及び産機システム事業において売上高が減少したことに伴う影響はあったものの、テストシステム事業及び鏡面研磨機事業の売上高が増加したこと並びに人件費等の販売費及び一般管理費が減少したことに伴い損失が縮小したことから、営業損失3百万円（前年同四半期は138百万円の営業損失）、経常損失3百万円（同113百万円の経常損失）、親会社株主に帰属する四半期純損失5百万円（同134百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(電子基板事業)

医療機器メーカー向けのFPCの販売は増加したものの、民生品及び産業機器向け製品の在庫調整が長期化している影響等により、カメラメーカー及びディスプレイメーカー向け等のFPCの販売が減少したことから売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少による影響及び加工賃単価の上昇に伴う売上高外注加工費率の上昇等により減益となりました。

その結果、売上高1,717百万円（前年同四半期比8.4%減）、セグメント利益243百万円（同23.3%減）となりました。

(テストシステム事業)

FPC向け通電検査機並びにセラミックス基板及びパッケージ基板向け外観検査機の販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、売上高の増加及び利益率の高い製品の販売による売上総利益率の上昇に伴う影響により黒字転換いたしました。

その結果、売上高592百万円（前年同四半期比115.4%増）、セグメント利益56百万円（前年同四半期は114百万円のセグメント損失）となりました。

(鏡面研磨機事業)

リチウムイオン電池用フィルム加工向け及びグラビア印刷機向け研磨機の販売が増加したことから、売上高は増加いたしました。損益については、労務費等が増加したことに伴い売上総利益率は低下したものの、売上高増加に伴う影響により増益となりました。

その結果、売上高327百万円（前年同四半期比57.7%増）、セグメント利益53百万円（同135.2%増）となりました。

(産機システム事業)

フィルム給排出装置及び医療向け外観検査システムの販売はできたものの、大型パッケージ基板の自動検査ライン等の販売があった前年同四半期の反動減により、売上高は減少いたしました。損益については、売上高減少に伴う影響はあったものの、人件費等の販売費及び一般管理費が減少したことにより損失が縮小いたしました。

その結果、売上高120百万円（前年同四半期比18.1%減）、セグメント損失19百万円（前年同四半期は28百万円のセグメント損失）となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

資産、負債及び純資産

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べ381百万円増加し、2,916百万円となりました。これは主として、棚卸資産及び売上債権が減少した一方、現金及び預金並びに有価証券が増加したことによるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べ19百万円減少し、2,023百万円となりました。これは主として、有形固定資産の取得により増加した一方、1年内償還予定の社債の振り替えにより投資その他の資産が減少したことによるものであります。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べ293百万円増加し、1,144百万円となりました。これは主として、短期借入金が増加したことによるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べ38百万円増加し、1,225百万円となりました。これは主として、長期未払金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べ30百万円増加し、2,569百万円となりました。これは主として、投資有価証券の時価が上昇したことによりその他有価証券評価差額金が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期の通期の連結業績予想については、2024年7月29日に公表した「2024年12月期 第2四半期累計期間業績予想の修正に関するお知らせ」からの変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,279,784	1,769,981
受取手形及び売掛金	632,233	580,887
有価証券	50,000	150,000
商品及び製品	73,880	64,167
仕掛品	341,045	183,924
原材料及び貯蔵品	122,114	131,309
その他	36,184	36,846
貸倒引当金	△382	△381
流動資産合計	2,534,859	2,916,735
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	293,197	280,888
機械装置及び運搬具(純額)	173,161	214,749
土地	906,424	906,424
その他(純額)	30,191	37,481
有形固定資産合計	1,402,975	1,439,542
無形固定資産		
その他	78,512	60,900
無形固定資産合計	78,512	60,900
投資その他の資産		
その他	565,583	526,528
貸倒引当金	△4,012	△3,742
投資その他の資産合計	561,570	522,785
固定資産合計	2,043,057	2,023,229
資産合計	4,577,917	4,939,964

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月20日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年9月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	117,063	143,291
短期借入金	339,166	598,676
未払法人税等	16,108	15,618
賞与引当金	—	28,998
製品保証引当金	720	1,280
その他	378,663	357,118
流動負債合計	851,721	1,144,982
固定負債		
長期借入金	414,747	394,737
長期未払金	77,895	122,001
役員退職慰労引当金	164,370	164,370
退職給付に係る負債	520,696	535,077
資産除去債務	9,247	9,247
固定負債合計	1,186,957	1,225,434
負債合計	2,038,679	2,370,417
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,198	822,195
資本剰余金	938,498	945,495
利益剰余金	656,978	633,359
自己株式	△116	△116
株主資本合計	2,410,559	2,400,934
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	49,817	87,617
為替換算調整勘定	48,202	48,389
その他の包括利益累計額合計	98,019	136,007
非支配株主持分	30,659	32,605
純資産合計	2,539,238	2,569,547
負債純資産合計	4,577,917	4,939,964

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年9月20日)
売上高	2,504,501	2,758,157
売上原価	1,825,200	1,961,416
売上総利益	679,301	796,740
販売費及び一般管理費	818,066	800,049
営業損失(△)	△138,764	△3,309
営業外収益		
受取利息	1,194	1,216
受取配当金	3,235	3,847
助成金収入	8,062	3,023
作業くず売却益	19,220	91
その他	7,828	7,161
営業外収益合計	39,542	15,340
営業外費用		
支払利息	7,363	8,166
債権売却損	2,788	2,754
為替差損	1,245	3,871
その他	2,944	391
営業外費用合計	14,342	15,184
経常損失(△)	△113,564	△3,152
特別利益		
補助金収入	98,723	8,366
特別利益合計	98,723	8,366
特別損失		
固定資産除却損	100	40
固定資産圧縮損	98,723	8,366
投資有価証券評価損	75	—
特別損失合計	98,900	8,406
税金等調整前四半期純損失(△)	△113,740	△3,192
法人税等	21,448	1,392
四半期純損失(△)	△135,189	△4,585
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△547	1,197
親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△134,642	△5,783

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年9月20日)
四半期純損失(△)	△135,189	△4,585
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,359	37,800
為替換算調整勘定	6,477	935
その他の包括利益合計	25,836	38,735
四半期包括利益	△109,353	34,150
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△110,554	32,204
非支配株主に係る四半期包括利益	1,201	1,946

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理に関する注記)

(税金費用の計算)

税金費用の計算については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法によっております。ただし、当該見積実効税率を用いて計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年9月20日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年9月20日)
減価償却費	86,183千円	103,462千円

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2022年12月21日 至 2023年9月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,874,206	275,190	207,471	147,633	2,504,501	—	2,504,501
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	—	—	974	974	△974	—
計	1,874,206	275,190	207,471	148,607	2,505,476	△974	2,504,501
セグメント利益 又は損失(△)	317,946	△114,604	22,707	△28,270	197,779	△336,544	△138,764

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△336,544千円には、セグメント間取引消去等12,719千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△349,263千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2023年12月21日 至 2024年9月20日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	電子基板 事業	テストシス テム事業	鏡面研磨機 事業	産機シス テム事業	計		
売上高							
外部顧客への 売上高	1,717,501	592,684	327,108	120,861	2,758,157	—	2,758,157
セグメント間 の内部売上高又は 振替高	—	—	—	219	219	△219	—
計	1,717,501	592,684	327,108	121,081	2,758,376	△219	2,758,157
セグメント利益 又は損失(△)	243,886	56,255	53,404	△19,755	333,791	△337,101	△3,309

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△337,101千円には、セグメント間取引消去等16,401千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△353,502千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。